

多古町議会では、定例会や臨時会での本会議や委員会のほかに、日ごろから視察・研修や近隣議会との連携、イベントへの参加など、幅広い活動を行っています。ここではその一部をご紹介します。

1月

熊本県多良木町議会

29日 本町議会中継システムを視察研修

本町議会の中継システムを視察、研修するために熊本県多良木町議会から宇佐信行議長ほか議員7名と事務局2名が来訪されました。本町議会からは、議長、副議長、各委員長3名、事務局2名で対応しました。

本町議会では平成25年12月議会からインターネットでのライブ中継を開始し、平成29年12月議会からはパソコンやスマホでの録画中継も開始しました。町民の皆様へ詳細な議会情報を公開しています。

当日の意見交換では、多良木町議会の皆様からシステム導入の動機や経緯、費用対効果、議員の反応と意識変化、セキュリティ確保のためのシステム構築など、活発な質疑応答が行われ、本町議会としても改めて中継システムの重要性を認識しました。遠方から来訪された多良木町議会の皆様にも参考になれば、有意義な研修になったのではないかと感じました。（総務産業建設常任委員会委員長 菅澤 博隆）



多良木町との意見交換

2月

芝山町議会・多古町議会連絡協議会

5日 立法趣旨に沿った議会活動とは



講師の話に聞き入る議員たち

本町役場を会場に、芝山町議会・多古町議会連絡協議会の議員研修会を行いました。元大津市議会事務局長の清水克士氏を講師に迎え、「立法趣旨に沿った議会活動とは」と題して講演をいただきました。改めて理解したのは、二代表制についてです。これは、住民が首長と議会議員を直接選挙で選ぶ制度のことで、これにより首長と議会議員が対等の立場で議論を重ねることができ、町の発展が期待できます。

また、講師は「議会は住民から選ばれた議員で構成する話し合い機関であり、議員が議論して意思表示する組織であるがゆえに、建設的な意見で妥協点を見つける必要がある。要するに、原案に対してより良い選択肢として提示される別案の無い批判は無いに等しい」と話されました。

「議会は無力化している」と住民から言われている自治体もありますが、議員自身が住民の代弁者であることを忘れ、立場を軽視化しているということがその要因の一つであるとのこと。私たちも今一度原点に戻り、本町発展のために目先のチャンスを逃さぬよう頑張ります。（議会広報特別委員会委員長 佐藤 幸三）

第1回定例会の傍聴者数は2名でした

インターネットで録画中継も行っています

多古町

検索

→ 多古町ホームページ → 多古町議会 → 議会中継 → 録画中継



← 多古町議会
録画中継はこちらから

6月定例会は、6月2日(火)から開会予定です。